

地質観光マップ ⑫ 東海村



至日立



東海村には標高が高い「台地」と標高が低い「平地」が存在します。この台地と平地の違いは、実は世界規模の気候変動によって形成されたものなのです。平地と台地の変化を足で実感しつつ、東海村の大地の成り立ちや、その地形が人々の生活にどのように関わっているかを見ていきましょう。



無料レンタル自転車「エコリン」を東海駅、村役場で借りられるよ！自転車各ポイントを回るのもイイね！
7:00~19:00
年末年始は休業
詳しくは



ポイント① 久慈川

ポイント①久慈川
久慈川は福島県南部から流れる河川です。途中、大子町などを通って、この東海村で太平洋に注ぎます。東海村の北部は平地が広がりますが、これは久慈川が長い時間をかけて台地を削ったことで形成されたのです。
詳しくは



ポイント② あこぎがうら 阿漕ヶ浦

ポイント②阿漕ヶ浦(あこぎがうら)
阿漕ヶ浦のルーツは埋没してしまった谷にあります。海水面の上昇により、谷は海に沈み土砂で埋没し、浅くなりました。その後、海水面が低下し、再び顔を出した谷に砂が溜まり、現在の阿漕ヶ浦になったと言われています。
詳しくは



ポイント③ ほそうらせいほ 細浦青畝

ポイント③細浦青畝(ほそうらせいほ)
東海村発足35周年を記念して、住民の投票で決められた東海十二景の一つです。平地に広がる田園風景が台地の上から望めます。ここでは地形の違いとその利用方法の違いに注目してみましょう。
東海十二景について詳しくは



ポイント④ 芋畑

ポイント④芋畑
ここでは、干し芋で有名な東海村の台地に広がる芋畑を見ることができます。台地は水はけが良く、さらにサツマイモと相性の良い火山灰質の土壌が表層に堆積しているため、サツマイモの栽培に適しています。



茨城のお伊勢様
詳しくは

- トイレ
- 無料駐車場
- 平地
- 台地

各ポイントの詳しい説明を携帯サイトで紹介しています。QRコードの読み取り機能のある携帯電話で読み取って接続してみてください！



至水戸

至ひたちなか

台地と平地の成り立ち

まっぷのポイントを巡ると東海村が高低差のある土地(台地と平地)であるということが実感できます。では、この東海村の台地と平地はどのようにして出来たのでしょうか？

温暖化で海水面が上昇し、陸地に海が入り込んでくることを「海進」、寒冷化で海水面が低下することを「海退」と呼びます。

関東平野は大昔から海進・海退を繰り返し、何度も海に沈んだり、陸になったりしてきました。



約12万年前の海進時

約12万年前の関東平野は、地球が温暖な時期で海に沈んでおり、東海村も海の底でした。海の時代の関東平野には、海の砂や泥が溜まっていたと考えられます。

その後、寒冷化により海退して陸地となり、久慈川を含む河川が大地を谷状に削りこみました。



約6千年前の海進時

約6千年前にも12万年前と比べると規模は小さいものの再び海進が起きました。このときの海進では古利根川や鬼怒川、久慈川などの大きな河川が築いた谷に沿って海が入り込み、そこに海の堆積物が再び溜まりました。この時に現阿漕ヶ浦にあった谷が土砂で埋没していきました。

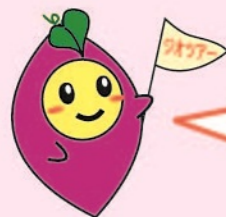


現在

2千年前頃からは海退が始まり、河川の侵食などによって大地が削られていきました。また、この2千年前以降に阿漕ヶ浦にあった谷の河川下流部が土砂でせき止められ、阿漕ヶ浦が出来ました。

このように何万年もかけて堆積と侵食を繰り返し、大地が削られたところが平地に、それ以外のところが台地となったのです。

参考：茨城の自然をたずねて



茨城県では東海村以外にも、海進・海退の影響を受けている地形を見ることができます！詳しくは、地質観光まっぷ「②霞ヶ浦」「④水戸・千波湖」をご覧ください♪

台地と平地の地形利用

台地の畑作

東海村の台地の上部は「関東ローム層」と呼ばれる那須岳・赤城山起源の軽石や火山灰を含んだ土壌で出来ています。このローム層は水はけが良く畑作に適しているため、台地では畑が多く見られます。

サツマイモ栽培と干し芋

ポイント④の説明のように、台地は火山灰質の土壌のためサツマイモの栽培に適しています。

また、この地域では干し芋を作る時期に冷たくて乾燥した風が吹くため、良質な干し芋を作ることが出来るのです。こういった東海村の土壌や気候がサツマイモと干し芋の生産に適しているため、この地域で生産が盛んになりました。



干し芋

平地の稲作

平地では水が確保しやすいため、田んぼが多く見られます。



谷津田の様子

また、三方を台地に囲まれた谷津(谷戸、谷地などとも)と呼ばれる台地が削られ形成した谷状の地形があります。谷津は湧水が得られ、湿地であることが多いため、よく「谷津田」として水田に利用されています。東海村でもこの谷津田が見られるところがあります。

アクセスマップ

電車でお越しの方
JR常磐線→東海駅 下車
(上野駅から約90分)

車でお越しの方
常磐自動車道
「那珂IC」から約20分
「日立南太田IC」から約10分
「東海スマートIC(ETC専用)」から約5分
常磐自動車道～北関東自動車道
「ひたちなかIC」から約20分



以下の方々にご後援をいただいております(順不同・敬称略)
東海村観光協会 (<http://www.garan.ne.jp/tokai-v/>)
東海村商工会 (<http://www.tokaisci.or.jp/>)
東海村教育委員会



⑫東海村

地球が作り出した地形…
大地の成り立ちから見る東海村



茨城県北ジオパーク推進協議会



お問い合わせ geopark@mx.ibaraki.ac.jp
ホームページ <http://www.ibaraki-geopark.com>



製作協力
茨城大学 地質情報活用プロジェクト
茨城大学の学生によるプロジェクトです